

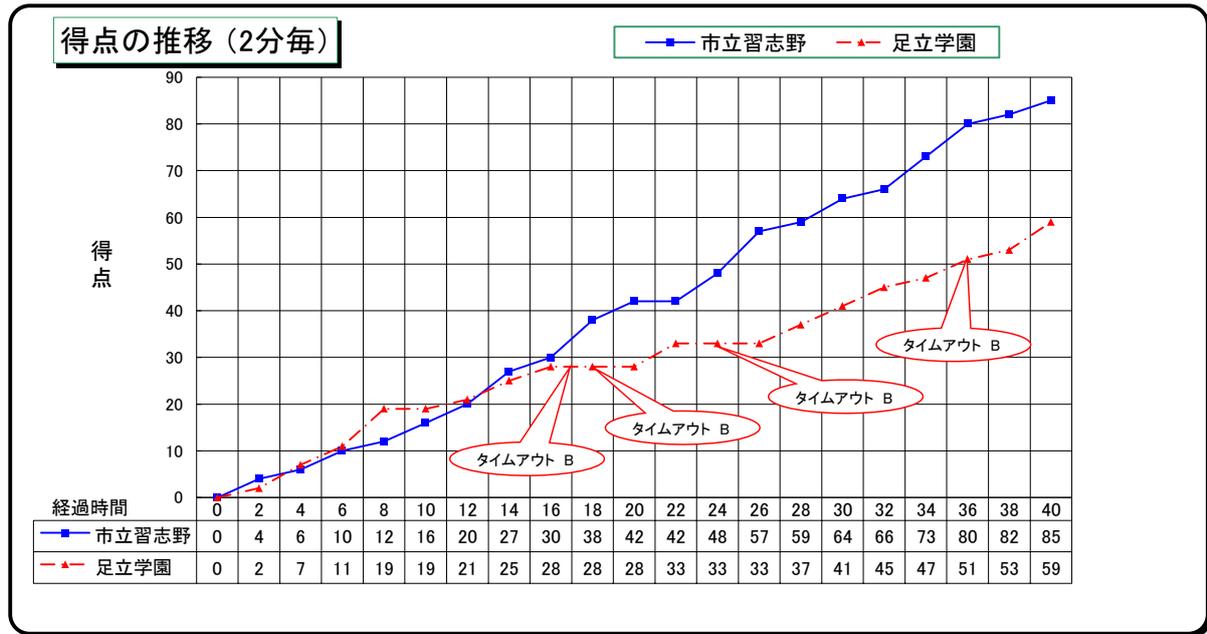
平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜1回戦＞

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Dコート	第3試合 12:00～	
<チームA> 市立習志野 千葉		85 { 16 1Q 19 26 2Q 9 22 3Q 13 21 4Q 18 } 59		<チームB> 足立学園 東京	
主審: 田村 元克(茨城) 副審: 堀田 浩平(茨城)					

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	江口 京佑	6		3		2
◎	5	峯尾 竜也	24		10	4	2
◎	6	平山 京磨	4		2		
◎	7	蕪崎 隼人	14		6	2	
◎	8	田中 圭	5	1	1		1
○	9	杉田 大和	7	1	2		
○	10	脇黒丸 岳史	9		4	1	
○	11	玄蕃 諒友	10	2	2		1
○	12	高村 京裕	4		2		
○	13	山倉 崇					
○	14	箕輪 勇人					
○	15	長谷川 亮太	2		1		
○	16	矢作 晃利					1
○	17	麻生 大介					
○	18	森 大晴					1
		コーチ 黒田 裕					
合計			85	4	33	7	8

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	佐藤 航大	20		10		1
○	5	佐藤 蓮太	12		5	2	2
◎	6	田邊 周平	4	1		1	2
	7	小坂 恒介					
◎	8	伊東 圭祐	6		3		1
◎	9	山崎 響	4		2		1
○	10	吉丸 清純					1
◎	11	谷中 健人	5	1	1		2
○	12	東 莉玖人					
○	13	小野寺 亮太	8		3	2	
	14	日野 裕大					
	15	手塚 一乃進					
	16	フェレリア ラッセル					
	17	松本 悠汰					
	18	波多野 克紀					
		コーチ 八木 一徳					
合計			59	2	24	5	10

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者: 木曾 尚樹

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンでゲームスタート。序盤は互いにシュートが決まらずディフェンスをし合う展開となる。残り6分、足立学園⑪谷中の3P、⑨山崎のバスケットカウントで得点するが、習志野も⑤峯尾を起点とし得点する(6-7)。その後、足立学園はディフェンスリバウンドから速攻での得点が増えリードを広げる(10-17)。残り3分、習志野の⑩脇黒丸が交代で出場し流れが変わる。習志野⑩脇黒丸の激しいディフェンスや、果敢なドライブインなどで得点を第1P終了(16-19)。

第2P、序盤は習志野がディフェンスからリズムを作り、すぐに追いつく展開となる(20-21)。その後は足立学園⑥田邊のフリースローや⑤佐藤の速攻による得点、習志野は⑧田中、⑩脇黒丸が得点をし、一進一退の攻防となる(30-28)。残り3分、習志野の激しいディフェンスから足立学園のターンオーバーが続いてしまいタイムアウト(32-28)。しかし、足立学園のチームファウルが混んでしまい習志野にフリースローが与えられる。残り2分、足立学園が前半2つ目のタイムアウトを取るが、流れは変わらず前半終了(42-28)。

第3P、足立学園の⑥田邊の3Pで後半をスタートする。その後も足立学園はディフェンスからきっちりとリバウンドを取るがなかなかシュートが決まらない。その後も足立学園はシュートが決まらない時間が続く中、習志野の⑤峯尾のスティールからの得点が決まる。残り6分半、足立学園タイムアウト(48-33)。だが習志野は、⑮長谷川のオフェンスリバウンドや⑧田中の3Pなどで突き放す(59-37)。一方、足立学園も⑤佐藤の連続得点などでくらくらいつく。

第4P、習志野は激しいディフェンスを続ける中、足立学園⑤佐藤も負けじとドライブインをして得点する。徐々に点差が開き始めて習志野は控えメンバーを出す展開となる。(73-47)。残り4分となり、足立学園がタイムアウトを取り、④佐藤の連続得点などで最後の猛追にかける。しかし、習志野の控えメンバーも相手の激しいディフェンスを掻い潜りゲームをコントロールし85-59で習志野が勝利した。習志野の体を張った激しいディフェンスやリバウンドが勝利に繋がった試合となった。